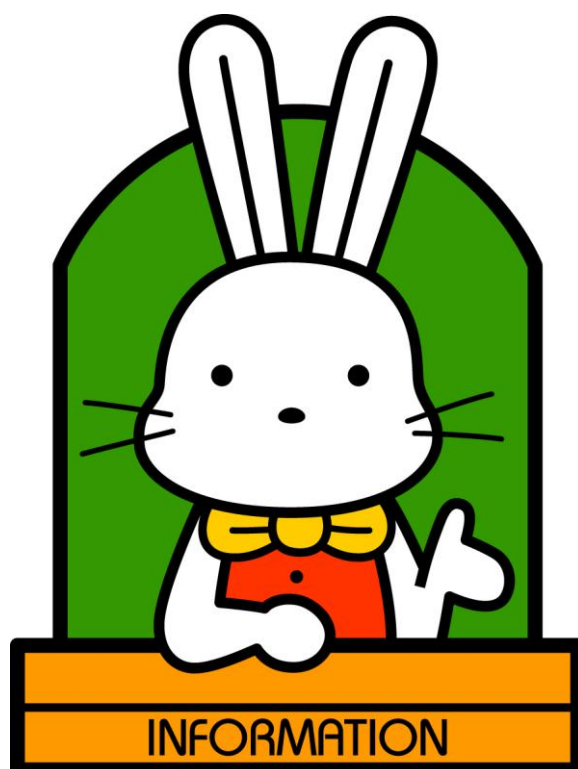


第 1 章 調査の概要



1. 調査の目的

- (1) 市民の健康と生活習慣状況、ニーズを把握するとともに東日本大震災の影響を把握し健康施策に反映させる。
- (2) 「新ふくしまし健康づくりプラン2006」の目標達成状況を評価し数値目標の見直しと今後の健康指標の設定を行う。
- (3) 「福島市食育推進計画」における評価指標の現状の把握のための資料とする。

2. 調査客体と調査方法

《一般》

| | |
|------|--|
| 対象 | 18歳から84歳（年齢基準日：平成23年10月1日） |
| 抽出方法 | 地区(支所)別・各年齢層(5歳階級)・性別に偏りが無いように人数を按分し、住民基本台帳から無作為抽出した6,016名 |
| 調査方法 | 郵送調査法 |
| 調査期間 | 平成23年10月 送付、回収 |

《追跡》

| | |
|------|---|
| 対象 | 平成17年度調査で回答のあった者、24歳から84歳 (年齢基準日：平成23年10月1日) |
| 抽出方法 | 対象者を各年齢層(5歳階級)の人口分布と類似するように按分し、無作為抽出した1,508名 |
| 調査方法 | 郵送調査法 |
| 調査期間 | 平成23年10月 送付、回収 |

《学童思春期》

| | |
|------|---|
| 対象 | 小学生・中学生・高校生 |
| 抽出方法 | 市内の全小・中・高校を対象に学年組を統計的に指定した2,773名 (在籍日：平成23年9月1日現在) |
| 調査方法 | 各学校長宛に配布依頼し、留置き回収 小学1～4年生は保護者記入依頼、小学5年生以上は本人記入 |
| 調査期間 | 平成23年10月 配布・回収 |

3. 調査項目

*項目で●(黒丸)は、今回の調査で新規に加えた調査項目内容

| 区分 | 質問項目 | 回答 | 一般追跡 | 小1～4年生 | 小5・6年生 | 中・高校生 |
|------------------|------------------|----|------|--------|--------|-------|
| 属性 | 性別 | 選択 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 住所 | 選択 | | ○ | ○ | ○ |
| | 年齢 | 記入 | ○ | | | |
| | 学年 | 選択 | | ○ | ○ | ○ |
| | 職業 | 選択 | ○ | | | |
| | 同居の家族数 | 記入 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 健康観 | | 選択 | ○ | | | ○ |
| 体格 | 身長・体重(小数一位を四捨五入) | 記入 | ○ | | | ○ |
| | 体格指数 BMI | 計算 | ○ | | | 高 |
| | ローレル指数 | 計算 | | | | 中 |
| | 自分の体型イメージ | 選択 | ● | | | ○ |
| 最近1年間の検診受診状況(8種) | | 選択 | ○ | | | |
| 生活習慣病の罹患状況(10種) | | 選択 | ○ | | | |

| 区分 | 質問項目 | 回答 | 一般 追跡 | 小1～ 4年生 | 小5・6 年生 | 中・高 生 |
|------------------------|------------------|------|----------|------------|------------|----------|
| 震災 後 の 変 化 | 生活習慣の変化の有無（6項目） | 選択 | ● | | | |
| | 現在も続いている変化、目立つこと | 複数選択 | | ● | ● | ● |
| | 変化した食生活 | 複数選択 | | ● | ● | ● |
| | 悪化した食生活 | 複数選択 | ● | | | |
| | 減った身体活動・運動習慣 | 複数選択 | ● | ● | ● | ● |
| | 悪化した睡眠・休養・精神状態 | 複数選択 | ● | | | |
| 健康づくりをするために必要なもの | 複数選択 | ○ | | | | |
| その他 | 記入 | ○ | | | | |
| 記入者 | 選択 | ○ | ○ | | | |
| 記入日 | 記入 | ○ | ○ | ○ | ○ | |

4. 集計方法

データ入力には委託業者が実施。集計は、表計算ソフト「エクセル」及びエクセルアンケート集計解析ソフト「エクセルアンケート太閤」を使用し、健康推進課の担当者が福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座の指導のもとに実施した。（学童思春期の対象者については福島市に在住と答えた者のみ集計）

なお、割合は小数点2位を四捨五入したため合計で100.0%にならない場合がある。

5. その他

本冊子については、一般、学童思春期対象者の集計結果（今回調査分と平成17年度の比較）を掲載し、「震災後の生活習慣の変化について」および「食育関連の集計結果」「追跡対象者の生活習慣の変化の集計結果」については別冊にて報告する。